

これまでの研究内容

①機能性磁性粒子をつくる

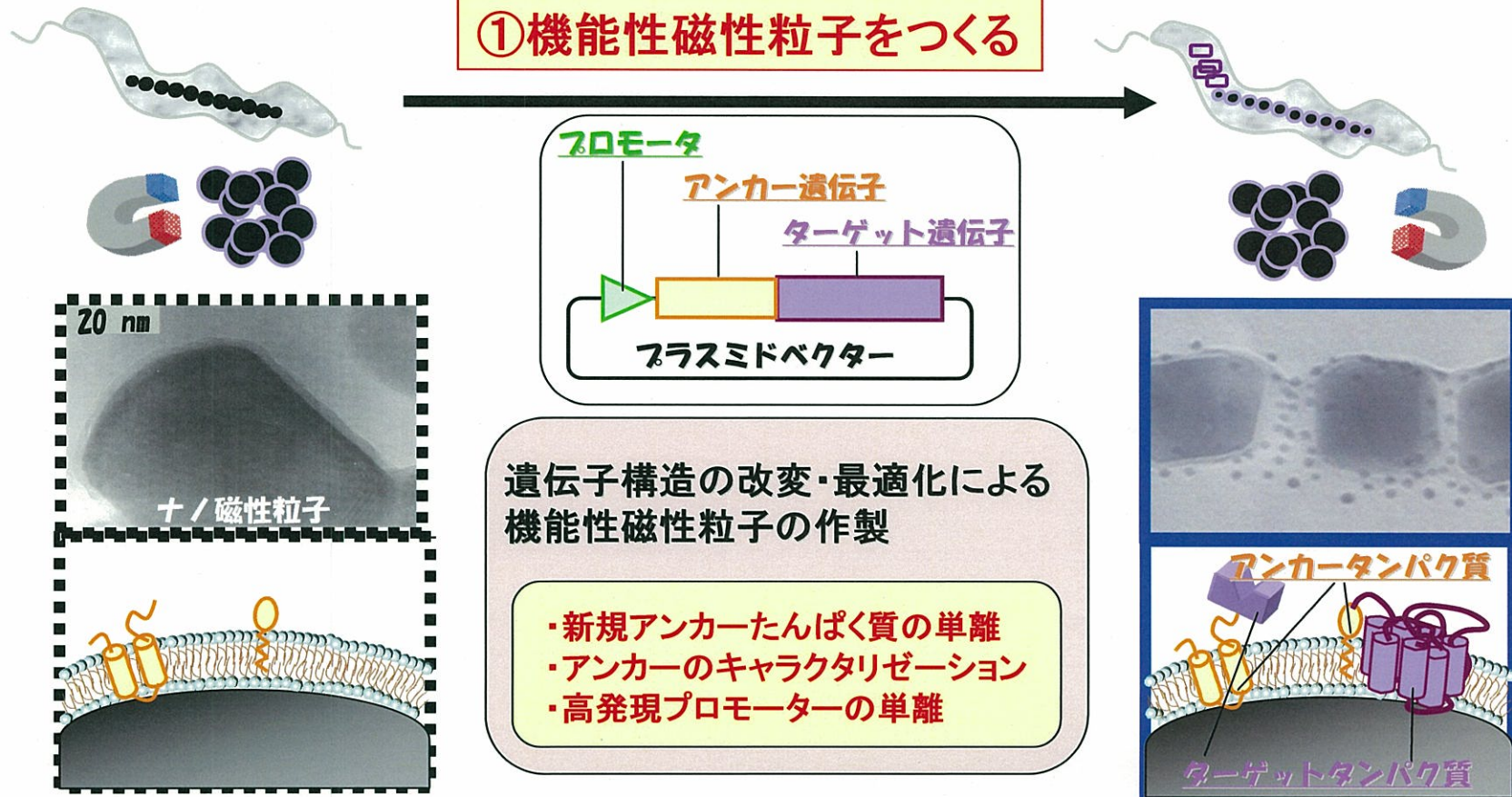
- ・磁性粒子膜上への効率的なディスプレイ技術の開発
- ・磁性粒子膜改変技術の開発
- ・膜貫通タンパク質の局在解析

②医療・計測分野に利用する

- ・エストロゲン様物質・ドーパミンの検出
- ・癌マーカーの検出
- ・単球・樹状細胞の分離

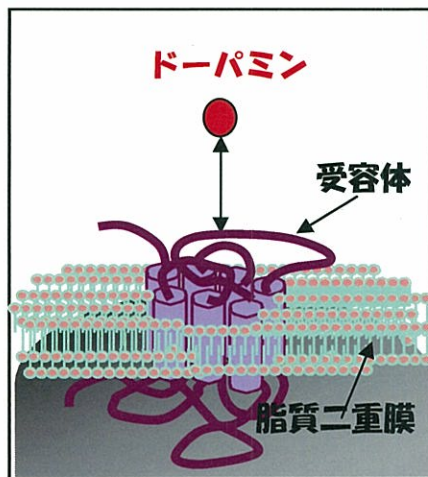
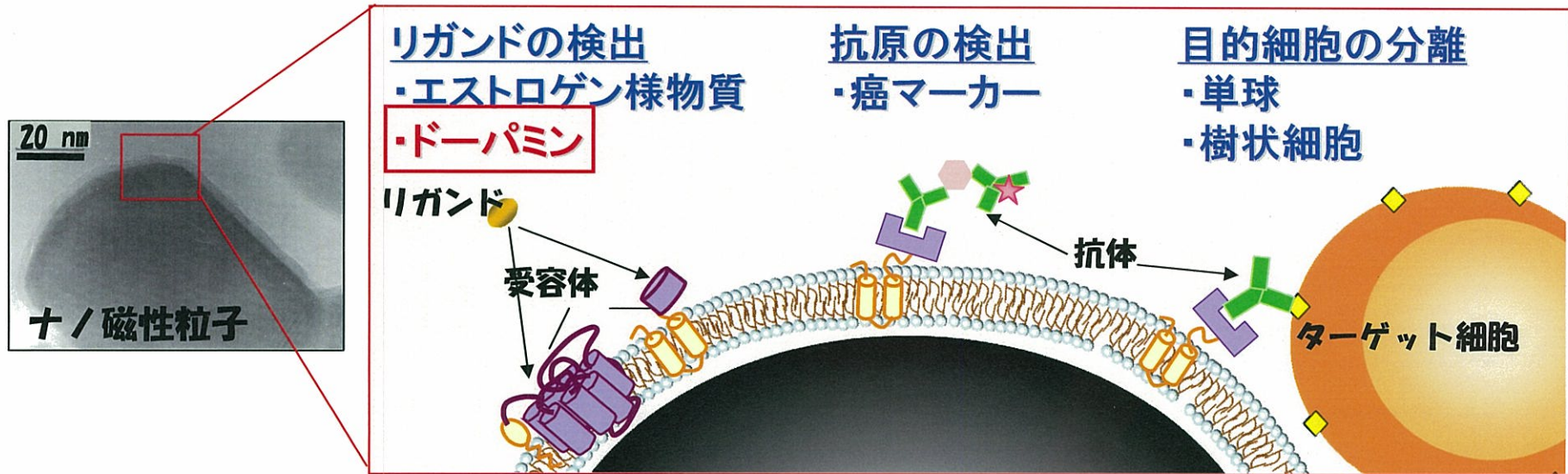
③その他

- ・SNP検出法の開発
- ・癌関連遺伝子の発現解析
- ・1細胞トラップ技術の開発



②医療・計測分野に利用する

磁氣的制御可能な磁性粒子＋磁氣分離機能を搭載したロボット⇒自動計測・検査機器



ドーパミン受容体
(Gタンパク質共役受容体)
↓
膜貫通タンパク質

磁性粒子膜上の脂質二重膜に着目：
膜貫通タンパク質の局在場所として利用
⇒膜タンパク質の解析
⇒創薬への応用

